



# 新入生を迎え、新たな 駅家中学校 のスタートです！

新入生の皆さん、

**入学おめでとうございます**

2年生、3年生の皆さん、

**進級おめでとうございます**

## 《学校教育目標》

### 「自律」「寛容」「志」～自ら考え行動し、仲間と共に、未来を切り開く～

今年度の新たに14名の教職員を、4月9日には新入生120名を迎え入れ、生徒353名、教職員35名、総勢388名で駅家中学校の2024年度がスタートしました。

入学式では、「自律」「命」をキーワードに話しました。

**自律**…理想とする姿や目標を自己決定すること。誰もが認めるものであること。その決定に対してあきらめず、追究することの大切さを話しました。反面、努力したら必ず報われるものばかりではないことも現実。目標修正やその判断・決断も大切な力であること。こういう場面でも成長があると考えています。

**命**…みんなが安心して学校生活（授業も部活動も係活動も行事も等々）を送ることができる。目標達成のために努力できる環境をみんなでつくること。努力する意欲をなくさせる行為や命を奪うことにつながりかねない言葉や行為がない学校。

一番大事な命をお互い守ること。アレルギーで命の危険にさらされる可能性がある生徒がいるということ。人を大切にするとすることは、自分も大切にされるということ等の話をしました。

伝えたいことはたくさんありますが、いずれにしても学校生活において、いろんな場面で「志」を持ち、あるべき姿を追い求めることができる環境づくりを行い、より良い選択、より良い人生につながる、より良い駅家中を創っていきたいと考えています。

1年間 よろしく願っています。



## 【新・転入者紹介】

校長	菅田 耕治	(神辺中より)	教諭	足利 直樹	(新規採用)
教諭	木井直芳秀	(一ツ橋中より)	教諭	梅田 拓希	(新規採用)
教諭	井上 大輔	(城北中より)	教諭	原田 光	(新規採用)
教諭	萬代 敏美	(向丘中より)	学校支援員	藤井 敬子	(大門中より)
教諭	九十九一成	(幸千中より)	介助員	園生 由益	(広瀬学園中より)
養護教諭	内海 綾乃	(広大三原小より)			
教諭	藪本 壮太	(新規採用)			

### 【校長の独り言】

学校が始まって 1 週間、休憩時間や放課後、いろいろな生徒が話しかけてきてくれました。

その中で、1 人の 3 年生の生徒が校長室に訪れ。「校長先生！話しよー」と声をかけてきました。

「名前は？」「〇〇」「ひょっとして、姉ちゃん、兄ちゃんがおるか？」

「おる」「兄ちゃん野球してなかったか？」「しとった」云々。

7 年ぶりに駅家中に帰ってきました。当時の生徒の弟、妹たちが中学生になっている現実に「年をとっとるんじゃないなあ」とあらためて感じた一方で、その生徒との距離感が縮まった瞬間でもありました。

続けて、「自分も野球しとる。野球したいんじゃないけど、2 年生まで勉強してなかったけえ、行けるところがあるんかなあ」と。

「なんで（勉強）せんかったん？」「〇〇（勉強ではない）が嫌じゃったけえ」と。「それは、やりたくない、やらんでもいい理由にしているだけじゃないの？」とズバツと聞くと、これまでの経験から、大概「違う」的な理由を言う生徒は多かったのですが、この生徒は「そうです」とためらわず、正直（だと思います）に答えました。ある意味、期待外れの回答にびっくりしましたが、「じゃあ、今から頑張ればいいじゃん」と。しかしその生徒は「でも、どうやってやったらいいかわからんのよ」。すごく素直な思いをストレートに話してきたので、少しひねって答えました。「まずは、（制服の）ボタン留めたら」と。続けて「名札を付けたら」というと、これまた意外な答えで「はい！」と言ってボタンを留め、名札を取り出し胸に付けました。

その後少し勉強の話をしたと思いますが、勉強の話より、この生徒の自分のこれまでおろそかにしていた部分を素直に認め、勉強には直接関係ないボタンや名札を素直につけた行為が印象的で、いろんな情報を疑ってみる（違う角度から見るということ）視点も大切な力なのですが、素直にやってみるという判断をこの生徒は選択したということです。私としては、この判断は、この場だけのやりとりでなく、学校生活の他の場面や家庭や地域でも活用するのではないかと、感心すると同時に期待させる反応でした。（決して言葉遣いは褒められたものではなかったのですが…）

新しい年が始まり、多くの生徒がそれぞれの思いで「今年は頑張ろう」という気持ちで、スタートしたと思っています。

自分の「現在地」を客観的に認識し、それを受け入れる。なかなか大人でもできることではない（私だけかも）のではないのでしょうか。

この生徒は「野球を続けたい」という目標を持っているから、このような行動につながったと思います。

まさに「自律 寛容 志」だと思ったひと時でした。

一日一日はさほど大きな変化のない一日かもしれませんが、しかし、「現在地」の受け止め方、捉え方でその先の方向（結果）は、大きく変わります。

「ちりも積もれば…」です。

まだ具体的な目標が見えていないようであれば、保護者のみなさまにもお手伝いいただきながら、一緒に考え、悩み支えていけたらと思っています。よろしく願いいたします。

ちなみに…

その 2 日後、その生徒と合うと、ボタンを留め、名札をつけていました。

「やっとなるよ」と少し自慢げに見せてくれました。

その生徒に「継続は力なり」と心の中でつぶやきました。